

令和2年度 第2回丹波市丹（まごころ）の里創生総合戦略推進委員会
委員からの意見

ハッピーバースパック・出産をお祝いする取組みについて

- ・ハッピーバースパックについて、本当に喜ばれるものなのかの検証が必要。
- ・心に残るほどの内容になっていないように思う。意見を聞き、バージョンアップし、喜んでもらえるものにすべき。
- ・健診に行くためのタクシーチケットなど、丹波市の事情ならではの助かるものなどが喜ばれるのでは。妊娠期の相談窓口に行けばもらえるというような仕組みにすると施策として充実する。

➡取組みに対するアンケートを実施しており、アンケート結果をもとに、本当に喜ばれるものかどうかの検証を行い、内容等をブラッシュアップしていきます。

公園整備について

- ・公園整備について、良い取組であると考えている。計画の前倒しを期待する。
- ・公園整備は必要である。小さな公園や空き地等を活用した公園の整備は、自治協議会や自治会で行い、実施する組織に支援していく方法は検討できないか。
- ・公園整備について、公園は幅広い年代の方に親しまれるべき。公園をマネジメントする人材を確保できないか。例えば、公園について学ぶ講座を開き、その講座で学んだ受講生たちでボランティアグループをつくってもらい、そのグループに公園の活用をゆだねるなど。
- ・公園整備計画について、身近な公園ニーズにはあまり応えていないように思う。廃校などは活用できないか。
- ・雨天時に子どもを遊ばせられる環境整備が有効であると考えている。

➡・公園整備方針に基づき令和6年度までに、順次11公園の整備を行います。

・小さな公園、身近な公園整備の整備については、アンケートでも要望があり、市としても何らかの取組みの必要性を感じています。

・雨天時に遊べる場所の環境整備についても、今後の公園整備の中で検討していきます。

病児保育について

- ・病児保育は必要であると思うが、園の職員確保が課題であると聞いている。こども園への財政支援が必要。コロナ対策を考えておくべき。
- ➡ 子どもの数が今後も減少していくなか、職員の確保をはじめこども園の維持は大きな課題と捉えています。現在も、こども園に対して各種補助メニューを設けており、課題に対して適時適切な対応を行っていきます。

子育てしやすい環境整備について

- ・子育て世代が働きやすい環境整備については、男女問わず、勤務先の理解が必要。財政支援と併せて企業に働きかけていく必要がある。理解のある企業を表彰することも有効である。
- ・産後の女性を一月受け入れる宿泊施設の整備なども考えられるのでは。(低価格で、赤ちゃん相談を受けられるもの)
- ・育休を取った家族を受け入れる宿泊施設を整備し、移住体験をしてもらうことも可能かと考える。
- ➡ ・企業等に理解を求めることは必要だと考えており、現在は検討を中断していますが、令和3年度のプロジェクトにも位置付け、市全体で取り組んでいく必要があると考えています。
- ・宿泊施設の整備については、今後の検討の参考にさせていただきます。

企業版ふるさと納税について

- ・企業版ふるさと納税について、コロナ禍で企業も厳しい状況。企業の賛同が得られるように考えていくべき。
- ・「帰ってこいよ」のまちづくりに向けて、寄附の募集に止まらず、テレワークができる環境整備を企業と共につくるべき。
- ➡ ・寄附をいただくためには、受け身の姿勢ではなく、積極的に事業をPRしていく必要があると考えています。企業版ふるさと納税サイトなども活用し、企業への働きかけを行っていきます。
- ・テレワークができる環境整備については、今後の検討の参考にさせていただきます。
- ・地元に戻ろうと思うのは、何か状況に変化があったとき。そのあと押しとなるのが、同級生や先輩の成功事例。市内高校の卒業生に向け、地元で暮らす人たちの成功事例の情

報を発信していくことが有効である。

➡情報発信については市の課題であると考えております。今後の検討の参考にさせていただきます。

市長公約と3チャイルド施策

・3人目の子どもの出産時に100万円…という市長の公約と、3チャイルド施策を廃止したこととの関係はどうなるのか。

➡3チャイルド事業やツープラス1出産祝金など、これまで取り組んできた子育て支援策は国の支援制度との関係や、その取組み自体が出生増に繋がっていないという理由から廃止しました。しかし、こどもの数が減っていく中、人口を維持していくためには子育て支援は重要施策であると考えております。子どもの成長段階でどんな支援が必要であるか、子育て世代のご意見も伺いながら、今後検討していきます。

医療体制の充実について

・医療センターの充実について、一刻を争う疾患に対応できる医療体制の充実をおねがしいたい。

➡市としても、医療体制の充実は重要な課題と捉えております。

令和3年4月1日付で、丹波医療センターの脳神経外科には2名の常勤医師が着任され、医療体制の充実が図られたところです。今後も市民が安心して暮らせるよう、医療体制の充実については引き続き県とも協議を行います。